

第2章 諸地域の生活・文化と環境

5 サハラ以南アフリカの生活・文化と環境

①サハラ以南アフリカの自然環境と歴史・民族（教科書 P. 96～97）

サハラ以南アフリカの自然／地形と気候

▶地形

高原状の台地

東部

〔 〕 帯…湖

〔 〕 山（標高：5895m）

▶気候

赤道から南北に

〔 〕

〔 〕

〔 〕

歴史と民族／植民地時代の影響

▶アフリカの歴史

- ・人類生誕の地
- ・ヨーロッパ人との接触以前

サハラ砂漠をはさむ南北（黄金）交易

〔 〕 川流域や〔 〕 湾岸地域に古王国がいくつも成立

インド洋沿岸地域

帆船を利用した〔 〕 商人との交易

→融合文化（〔 〕）形成

- ・ヨーロッパ人のアフリカ進出

〔 〕 貿易→アメリカへ

→伝統社会崩壊

20世紀初頭〔 〕化

熱帯産品・鉱産資源の供給地

・第二次世界大戦後

→多くの植民地が〔 〕

→言語・貿易等，旧宗主国との結びつき強

〔 〕的国境→民族対立や内戦